

喜多壯一郎 きただ じゅういちろう 評論家。明治二十七年二月石川縣生れ、昭和四十二年歿（一八五九—一九六六）。筆名北川草彦、陳奮館主人。早稻田大學法學部卒。歐米留學後同大教授、新聞學專攻。のち衆議院議員。

著書『米國學生生活』（大正十一年九月一日アルス）、『暗殺・革命・動亂』（昭和五年七月十五日武俠社「近代犯罪科學全集」）、『たばこ』（合著・時事新報社編、昭和六年十一月五日時事新報社）、『街頭政治學』（昭和七年十一月一日木村書房）、『コジャーナリズムの理論と現象』（昭和七年十一月八日千倉書房）、『第七十議會解散の是非併而、近時の政黨に關する所感』各方面に聽く（合著、昭和十一年四月四日昭和特別通信社）、『戯曲』北條時宗』（昭和十八年七月一日旺文社）、『江戸の藝者』（陳奮館主人名、昭和二十二年十一月十五日千葉・川柳祭社）、『遺稿集』母枝良稻田』（昭和四十五年二月二十日喜多壯一郎先生遺稿出版会）等。

